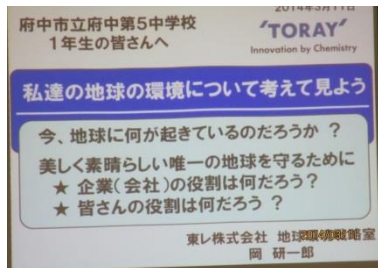


第66回未来教室 府中市立府中第五中学校

1. 学 校 名 府中市立府中第五中学校
校長 中村 一哉
2. 住 所 東京都府中市新町2-44-20
042-363-9125
3. 開催日時 平成26年3月11日(火)
5・6時間目 13:40~15:00
4. 実施学年 1年生 5クラス合同 (173名)
会場：武道場
5. 授業内容 「私たちの地球の環境について考えてみよう」
～環境学習の締めくくりとして～
6. 協力企業 東レ株式会社
地球環境事業戦略推進室 岡 研一郎様

当日の様子



『東レ株式会社 岡 研一郎さんの講演を受けて』

府中市立府中第五中学校 第一学年 学年主任 小林 功治

平成26年3月11日、東日本大震災からちょうど丸3年経ったこの日、東レ株式会社の岡 研一郎さんをお招きして、一年生を対象に地球環境問題についてのお話をさせていただきました。本校一学年では、今年度、総合的な学習の時間を使って「環境とこれからの生活を考える」をテーマに調べ学習や事業所訪問を実施してきました。その総まとめ的な位置づけとしての今回の講演、生徒にとっては一年間学習してきたことを更に深める貴重な時間になったと思います。講演を聴いて、身の周りでたくさんのに二酸化炭素が排出されていることや、化石資源がなくなってきている現実を知り、生徒は少なからず驚きやショックを受けていたようです。その中で、家電製品の電源をこまめに切ることや、エアコンの温度設定の見直し、水を出しっぱなしにしないなど、自分達にできることを考える生徒もいれば、理科好きな生徒で、将来新しいものをつくり出して地球温暖化防止に貢献したいと考えを発展させる生徒もいました。

21世紀を生きる彼らにとって、今地球上で何が起きているのかを知り、その対策を考え実行していくことは、自分自身の生活だけにとどまらず、将来生まれてくる子供の生活に影響してくる大変重要なことです。地球環境問題と正面から向き合い、その上で自分達のやれることを考える良いきっかけを与えてくれた東レ株式会社の方々や、仲介していただいたおやじ日本の方々にはこの場を借りて改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

府中第五中学校生徒の感想より（一部抜粋）

- 「人間はゆっくりとした変化には気付にくい」という言葉が私の心に深く残りました。
私は、地球温暖化についてもっと深く知って、今私たちにできることを考えて、実行に移りたいです。また、私は理科が好きなので、将来新しいものをつくり出して、地球温暖化防止に貢献したいです。
- 環境講話で学んだ地球温暖化の現状と、私たちのできることを母に話したら、「小さなことでも私たちにできることを取り組んでいかないとね。」と言われました。
一人ひとりが意識すれば、きっと多くのCO₂を減らすことができますと思います。
だから、自らできることを行動にうつし、キレイな環境をつくっていきたいです。
- 私は、「行動するのは今。」という言葉がとても印象に残りました。どんなにいろんな事を知っていても、行動をおこさなければ何もはじまらない、という事は、今回の環境問題についてだけではなく、勉強や部活すべてのことにつながると思いました。
- 私たちが大人になる頃に、悪化しているか少しでも良い方向にいつているかは、今どうするかが鍵になってくると思いました。家族などと環境について深く話し、今の生活を変えていきたいです。
- 二十世紀から地球温暖化で温度が高くなってきていると知り、他人事ではないと感じ、二酸化炭素の排出量を少しでも減らそうという意識がより高まりました。家に帰って親と相談し、エアコンの温度を二十四度から二十度に変えました。
- 今まで、なんとなくしてきたことが地球環境を破壊しているということが分かり、自分がしてきたこと一つひとつを気にかけて行動していきたくて思いました。